

令和7年第1回（2月招集）袖ヶ浦市議会定例会

一般質問日程

質問順	議員名	質問予定日
1	小島 仁美	3月10日（月）午後1時15分頃
2	在原 直樹	3月10日（月）午後2時15分頃
3	鈴木 嵩人	3月11日（火）午前9時30分頃
4	緒方 妙子	3月11日（火）午前10時30分頃
5	高橋 大志	3月11日（火）午後1時15分頃
6	稲毛 茂徳	3月11日（火）午後2時15分頃
7	塚本 幸子	3月12日（水）午前9時30分頃
8	木村 淑子	3月12日（水）午前10時30分頃
9	篠崎 典之	3月12日（水）午後1時15分頃
10	田丸 有輝子	3月12日（水）午後2時15分頃
11	湯浅 榮	3月13日（木）午前9時30分頃
12	励波 久子	3月13日（木）午前10時30分頃
13	根本 駿輔	3月13日（木）午後1時15分頃
14	笹生 猛	3月13日（木）午後2時15分頃

※時間は目安です。議事の進行により前後することがあります。

令和7年第1回（2月招集）袖ヶ浦市議会定例会

市政に関する一般質問通告者一覧表

14名 25件

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
1	3番 小島 仁美議員	1 袖ヶ浦市職員の職場の環境づくりについて	(1) 袖ヶ浦市民へのサービスがより活性化する為に、袖ヶ浦市全職員の働く環境に関して心掛けていることや取り組んでいることを伺う。 (2) 袖ヶ浦市全職員が上司や同僚に言えない業務上の困っている事や悩み事を安心して伝える制度はあるのか伺う。
		2 袖ヶ浦市としての情報リテラシーや情報モラルについて	袖ヶ浦市におけるホームページ及びSNSの運用方針について伺う。
2	15番 在原 直樹議員	1 長浦駅北口の活性化に向けた取組について	臨海スポーツセンターでは令和2年9月から利用停止となっていた温水プールが廃止となり、体育館、柔道場・剣道場、トレーニングジム、多目的室の利用のみとなっています。令和6年3月に臨海スポーツセンターの利活用に向けたサウンディング型市場調査が実施され、5つの事業者と意見交換がされました。長浦駅北口の活性化には臨海スポーツセンターの敷地や立地を活かした取組が必要と考えますが、以下の点について伺います。 (1) サウンディング型市場調査が実施され、市長の施政方針では来年度重点的に取り組む事項として臨海スポーツセンターの活用とありましたが、今後どのように取り組んでいくのか伺います。 (2) 長浦駅北口は、駅前ロータリー周辺の店舗の閉店が続き賑わいが少なくなっています。臨海スポーツセンターの利活用が長浦駅前の活性化につながる起爆剤になることが期待されておりますが、どのような施設を目指すのか伺います。

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(3) 長浦駅北口周辺の街路樹は経年により高木となり、葉が生い茂ると街路灯の灯りを遮り、夜間は更に暗い通りになってしまいます。また国道手前の側道の樹木の枝も大きく道路にはみ出し、通行するトラックのミラーや車体を傷つける事案もあがっております。通行の安全を守るため街路樹の変更や剪定方法を考えていかないか伺います。</p>
3	2番 鈴木 嵩人議員	2 単身高齢者等の住宅事情について	<p>昨今、単身高齢者等の住宅確保要配慮者の賃貸住宅への入居に対するニーズが高まりつつあります。一方で賃貸人の中には、入居者の孤独死や死亡時の残留物処理、家賃滞納等に対して懸念を持っている方も多く入居することが困難となっています。こうした状況を受け、本市の対応について伺います。</p> <p>(1) 本市には市営住宅が3地区にありますが、単身高齢者等の受け入れが出来るようになっているのか伺います。</p> <p>(2) 高齢者が安心して暮らすことができる条件として、買い物に歩いて行ける場所等があげられているが、本市の市営住宅は市街地から離れていてこれらの条件から逸脱しているように思われます。また、市営住宅全般老朽化が著しく、高齢者等が安心して暮らせる場所へと新しく更新していかないか伺います。</p> <p>(3) 近年大地震のリスクが高まりつつあります。政府の地震調査委員会は、今後30年以内に震度6弱以上の激しい揺れに襲われる確率を示した予測地図を公表しております。一番近い千葉市では62%と高い確率となっていますが大地震の際に市営住宅が倒壊するおそれはないのか。また住宅が倒壊してしまった場合にはどのように対応していくのか伺います。</p>
		1 内陸部の街づくりについて	<p>(1) 内陸部において少子高齢化が急速に進む中で、地域住民のニーズ等を踏まえ、街づくりに対して市はどのように考えているか。</p> <p>(2) 自然環境や農地を守りながら街づくりを進めるための取組、具体的な方策を伺う。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
		2 有害鳥獣対策について	<p>(1) 本市においての有害鳥獣による被害状況について、鳥獣被害防止計画を踏まえた市としての対策について</p> <p>(2) 有害鳥獣駆除において、各関係機関との協力体制について</p> <p>(3) 本年10月末に期限となる鳥獣保護区見直しについて、農作物等への被害を軽減するため、鳥獣保護区を縮小するなどして狩猟しやすい環境を整えるべきだと考えるが、市として県への働きかけ等について</p>
		3 教育環境の更なる整備推進について	<p>(1) 市内小中学校のトイレ洋式化について、第2期実施計画における令和7年度計画事業変更で、一部小中学校で改修を進める予定だが、他の小中学校の改修状況及び今後の計画について</p> <p>(2) 小中学校は災害時に避難所として重要な役割を果たす中で、更なる機能強化を図るため、洋式化及び乾式化を早急に完了させないか。</p>
4	17番 緒方 妙子議員	1 健康・医療について	<p>① 带状疱疹ワクチン接種費用独自助成</p> <p>国は「带状疱疹」を予防するワクチンをこの4月から定期接種化し、接種費用の一部を交付税で手当てします。これに加え、独自に助成する市区町村もありますが、本市においての考え方について伺います。</p> <p>② 65歳以上の方を対象とした新型コロナワクチン予防接種</p> <p>令和6年度は国からの補助を受け、65歳以上の方を対象として接種が実施されました。接種状況と継続実施などの今後の予定について伺います。</p> <p>③ 健康寿命の延伸を図る取組</p> <p>施政方針の中の健康意識を高める取組、食生活改善や口腔ケアの習慣化を図る新たな取組について伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>④ 加齢性難聴の検査、早期発見、取組</p> <p>高齢化が進む中で聴力の低下は早期に発見し、その後の対応、適切な受診につなげる支援が必要です。そこで無料の聴力検査やチェックできる環境の整備、受診へつなげる支援、また聴覚補助器の購入費用の助成などを検討しないか伺います。</p>
		2 施設の整備推進と利便性の向上について	<p>① 袖ヶ浦バスターミナル</p> <p>通勤やレジャーなどで多くの方が利用される便利な袖ヶ浦バスターミナルですが、様々なお声を伺います。今後のさらなる施設の充実と利便性の確保に市としてどのように取り組んでいるかを伺います。</p>
			<p>② 交流センター</p> <p>昨年より交流センターとしてもさらなる利用の拡大をしましたが、建物は築30年を経過し、計画的に修繕を実施されておりますが、今後の維持管理、整備についての現状の基本的な考え方について伺います。また交流センターとして現在、どのように利用、周知を図っているかを伺います。</p>
			<p>③ 袖ヶ浦公園</p> <p>年間を通して市内外から多くの方が訪れます。きれいに整備はされておりますが、設備などの経年劣化、応急に修理されている箇所、使用不可が見られます。公園に新たな付加価値、特化した魅力向上などのご意見を頂きます。市長のお考えを伺います。</p>
5	5番 高橋 大志議員	1 横田地区における道路の整備状況と計画について	<p>(1) 現在整備中の市道三箇横田線（三番線通り）及び市道代宿横田線（のぞみ野通り）の整備状況と今後の予定を伺う。</p> <p>(2) 市道三箇横田線に接続する市道横田下望陀境線の今後の整備予定について伺う。</p> <p>(3) 利用者の多い、市道代宿横田線及びJR久留里線第一宿後踏切の拡幅を行わないか伺う。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
		2 ふるさと納税を推進する取組について	<p>(1) これまでの取組と現状について</p> <p>過去の新聞報道によると、令和3年度のふるさと納税の寄附金額で、千葉県内54市町村のうち、袖ヶ浦市は33番目であった。また、近隣の木更津市、君津市、富津市、市原市の中でも本市は最下位であった。寄附金額を確保するためのこれまでの取組と、寄附金額の実績（及び他市への寄附による本市の市民税の控除額）について、その後どのように推移しているか伺う。</p> <p>(2) 現状をふまえた今後の見通し、プロモーションやマーケティングなど新たな取組は検討しているのか。</p> <p>関東で7年連続ふるさと納税寄附金額1位の茨城県境町ではSEO対策（検索エンジン対策）はもちろん、プロモーションやマーケティングは必須とのこと。本市ではどのように取り組み、今後どのような展開を考えているか伺う。</p>
6	11番 稲毛 茂徳議員	1 安全・安心で環境にやさしいまちづくりに向けた、地域住民との連携や備えについて	<p>(1) 災害の発生時に、非常備消防団や自主防災組織、災害対策コーディネーターなどに、市として期待する役割について</p> <p>(2) 市内は広範に、河川やため池の氾濫、津波や高潮による浸水想定被害エリアが指定されているが、浸水が想定されるエリアに対する備えについて</p> <p>(3) 災害発生時には、怪我による重症救急患者が増加すると考えるが、ドクターヘリの離着陸場所の現状と選定について</p>
7	22番 塚本 幸子議員	1 平川地区認定こども園整備について	<p>平川地区幼児教育・保育施設整備計画が令和4年9月に策定され、その後保護者説明会、地域住民説明会を経て、整備運営法人を募集し令和5年2月に事業者が決定した。</p> <p>(1) 整備運営法人の募集要項では、運営に関する条件として保護者ニーズに応じ、バス送迎の対応が可能であることという項目があるが、選定された事業者はバスの運行はしないと決定している。プロポーザル方式で事業者を選定しているが、どのように選定したのか。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(2) バス運行がないので、他の施設を検討するという声を聞いた。整備計画を作成し、計画をすすめるにあたり、保護者説明会、地域住民説明会でバスの運行についての意見やそれに対する答弁はどのようなものがあったのか。</p> <p>(3) 保護者や地域住民の声をどう募集要項に反映させたのか。</p>
		2 学校給食費無償化について	本市は、子育て世帯が多く転入している。子どもたちの健やかな成長と子育て環境の充実、地域・農業の活性化とさらなる人口流入の促進から給食費の完全無償化を検討しないか伺う。
8	10番 木村 淑子議員	1 令和7年度施政方針について	<p>(1) 子育て環境と学び・活動の場が充実した未来を育むまちづくりについて</p> <p>① 平川地区における子育て世代をサポートする拠点として、「百目木どろんこ保育園」に併設される「子育て支援センター」について伺います。</p> <p>② 令和8年度から実施する「こども誰でも通園制度」の概要について伺います。</p> <p>③ ICT環境の整備の中で、市内小中学校における児童生徒のタブレット端末の更新について伺います。</p> <p>(2) 安全・安心で環境にやさしいまちづくりについて</p> <p>① 本市の地域防災計画の見直しについて概要を伺います。</p> <p>② ペットとの同行避難のためのガイドラインの整備について伺います。</p> <p>③ 避難所としても活用する各交流センターの整備について伺います。</p> <p>④ 街頭防犯カメラや防犯灯の適切な設置、および犯罪被害を防ぐための情報の周知徹底と啓発活動について伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>⑤ ごみの減量化・再資源化において、プラスチックリサイクルの本格実施に向けたモデル実証事業の取組について伺います。</p> <p>(3) みんながつながり参加する持続可能なまちづくりについて</p> <p>① 本年2月に庁舎整備が完了し、南庁舎1階に「市民交流広場」、2階に市民協働会議室「そでふれば」、中庁舎の2階に市民活動サポートセンター「そでのわ」が設置されました。どのような活用を想定しているか伺います。</p> <p>② 自治会の負担軽減や回覧板の電子化を支援するなどの検討内容について伺います。</p>
9	23番 篠崎 典之議員	1 市長の政治姿勢について	<p>施政方針に対して、以下の点を伺います。</p> <p>(1) 「重点的取組事項」として「東京湾アクアラインを活かした新しいまちづくり」とあるが、地権者の有志による「袖ヶ浦駅西側地区まちづくり準備会」の活動支援等、一部有志の方々の意向でまちづくりを進めるというお考えか。まちづくりは、周辺地元住民をはじめ、幅広い市民のみなさんの意見や協議を経るべきと考えるが、幅広いみなさんの意見を取り入れるためにどのような取組を行うのか。</p> <p>(2) 「臨海スポーツセンターや百目木公園等施設の活用」、「地域の特性と特徴を活かした」、「にぎわいのあるまちづくり」を検討し、「市民、民間業者、行政が一体となった持続可能なまちづくり推進」とある。一方で「健康づくり支援センターや臨海スポーツセンターのあり方を検討」とあるが、施設譲渡は行うべきでない。ここでいう「まちづくり」とは、いわゆる「再開発」ではないかと考える。地域住民にどのような恩恵と生活環境をもたらす「まちづくり」なのか、市長の考える「まちづくり」とは何か伺いたい。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(3) 特に市長が「重要な産業分野」だという袖ケ浦市農業は、根形地区や中富地区、平岡地区をはじめ、高齢化が進む中で、後継者育成が急がれるが、地域では「農業機械買い替えに数千万円も見込まれ、もうやめるしかない」「年間10数万円程度の農業収入ではとても暮らせず、草刈りなど農地の維持がやっと」「農地が荒れるとイノシシも増える」などの声があふれている。「家族経営の農家のみなさんが食べていける地場産業としての農業」の発展こそ、地域まちづくりのかなめだと考える。市長は「農地の効果的な利用」「ICT活用の機械導入の生産性向上」「スマート農業事業者支援」等と述べているが、それで古くから市内に居住し、農業を営み、安心安全な農作物を生産する農家のみなさんや市民のみなさんにとってどのような支援になるのか、具体的に伺いたい。</p>
10	6番 田丸 有輝子議員	1 公共施設の学習スペースについて	<p>袖ケ浦市総合計画では生涯学習分野における市が目指すまちの姿として「市民が主体的に生涯学習に取り組んだ成果が豊かな地域づくりに活かされ、また、青少年を地域全体で育み、健やかに成長できる環境が整っています。」と掲げています。</p> <p>その成果を確認するため「身近に学習できる場や機会があると思う市民の割合」を指標としており、令和元年には49.6%であるのを6年後の目標値を51.7%と向上させています。</p> <p>そこで、市内公共施設である市役所や図書館、また交流センターでの学習できるスペースの現状と、今後の方向性について伺います。</p>
		2 窓口業務における市民サービスの改善について	<p>市民のニーズが多様化する中、市民目線に立った行政サービスを効率的に提供していくことが求められています。</p> <p>そこで、本市のワンストップサービスの現状と市役所窓口業務において、担当部署が異なる各種証明書の発行・申請手続きを1つの窓口で交付する窓口や、多種多様な制度の申請漏れを防ぐための相談窓口の設置やシステム導入をするなど、市民が分かりやすく利用しやすい窓口を検討していないか伺います。</p>
11	12番 湯浅 榮議員	1 本市の下水道管について	<p>埼玉県八潮市の道路陥没事故を受けて、本市下水道管の現状を伺う。</p>
		2 公共施設に設置の裸婦像について	<p>本市における公共施設に置かれた裸婦像の現状と今後について</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
12	18番 励波 久子議員	1 施政方針について	(1) 「こども基本法」に基づき、令和8年度を初年度とする「こども計画」を策定していくとの事ですが、どの様なスケジュールで、策定まで進めていくのか。特に、「こどもが意見を表明し参加する権利」をどのように計画策定に反映していこうとしているのか伺います。
			(2) 令和8年度から「こども誰でも通園制度」を実施するため、検討を進めるとの事ですが、ニーズ調査、受入れ可能な施設があるのか、メリット・デメリットをどのように考えているか伺います。
			(3) 公共施設等総合管理計画について、庁内の検討だけでなく、説明会を開催するなど、市民に積極的に情報提供を行いながら進めていくとされていました。この間、どのように市民の声を聴いてきたのか伺います。
			(4) 消防本部中央消防署と長浦消防署の2署を統合し、新たな防災拠点となる統合消防庁舎について今後の整備方針を決定していくとの事ですが、整備地をどこにするのか伺います。
		2 公共交通と市民の足の確保について	(1) デマンド交通「チョイソコがうら」について
			① 長浦地区の実証運行は令和7年9月までとなりますが、目標に対して現状どうなっているか伺います。
			② 市内全域への運行となり、予約が取れなくなったとの声を聴きます。現状と今後の対応について伺います。
			(2) 高齢者タクシー料金助成事業について、「チョイソコがうら」の市内全域運行に伴い、見直しを検討しているとの事ですが「チョイソコがうら」は市内全域の実証運行が始まったばかりで、予約も取りづらい状況です。タクシー料金助成事業は継続が必要と考えますがいかがか伺います。

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			(3) 市内には産科がありません。全国的にも、産科空白自治体が増えており大きな問題となっています。妊産婦対象にタクシー利用助成に取り組んでいる自治体が多くありますが、袖ヶ浦市でも実施しないか伺います。
		3 学校給食について	(1) 弁当の日のあり方について協議状況を伺います。 (2) 学校給食費の無償化を求める署名を市民のみなさんから頂き提出しました。改めて、給食費完全無償化に踏み出さないか伺います。
13	13番 根本 駿輔議員	1 公益通報制度について	近年、官民間問わずコンプライアンス遵守やハラスメント対策について従来以上に対応する体制が求められる中、公益通報制度がしっかりと機能することが重要であると考えます。 消費者庁では内部公益通報対応体制の整備等について、地方公共団体向けのガイドラインを作成しており、令和4年に法改正を受けた改訂をしているが、本市において同ガイドラインの改訂を受けた体制整備の見直し等を行ったのか伺う。
14	20番 笹生 猛議員	1 後期基本計画策定について	現在、袖ヶ浦市では、令和2年度から令和13年度を計画期間とする総合計画の中間点を迎えようとしている。このため、令和7年中には後期基本計画の策定が予定されており、今後、作業が本格化していく見込みである。 前期基本計画の策定時と比較すると、社会情勢をはじめとするさまざまな環境が変化しており、それに伴い計画の前提も見直す必要がある。この変化に対応するため、施策の再検討が求められる。 後期基本計画の策定にあたり、こうした社会環境の変化をどのように反映すべきか、その課題と対応の方向性について伺う。